

<p><b>活動タイトル</b></p>	<p><b>不登校・フリースクールへの理解をひろげるオンライン講座の開催</b></p>		<p><b>団体名</b></p>	<p><b>NPO法人フリースクール全国ネットワーク</b></p>		
<p><b>1年間の活動 (アウトプット)の目 標 (事業全体)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国ネットワークスタッフの研修実施</li> <li>・オンライン講座の実施にあたり、そこで使用するソフトウェアや機材に関する研修、およびオンラインによる学習の利点や通常の学習会等との違い（注意点）等を学ぶ。</li> <li>・当団体自主事業であるJDEC（日本フリースクール大会）基調講演のオンライン配信（無料配信）</li> <li>・当団体自主事業であるフリースクールスタッフ養成連続講座の内容をもとにした「オンライン講座用映像教科書」の作成</li> <li>・フリースクールスタッフ養成連続講座-オンライン版 の実施（1回90分×6回）</li> </ul>		<p><b>■ 活動風景</b></p>			
<p><b>■ 活動報告</b></p>		<p><b>■ 1年間の目標に対する達成状況</b></p>		<p>動画教科書</p>		
<p>当団体が毎年実施している「フリースクールスタッフ養成連続講座」の講義・シンポジウム部分をビデオ撮影し、参加者がインターネットを通じて動画視聴、その後指定の日時にオンライン会議室に集まり疑問点を質問したり、気付いたことを共有する「web学習会」を行う「フリースクールスタッフ養成連続講座_オンライン版」を実施した。約1000分の【動画教科書】視聴と540分の【web学習会】参加でフリースクール、不登校の子どもの支援について学んだ。</p> <p>この講座には、フリースクール等での活動をしたいと考える学生や、自らフリースクール等を立ち上げようとする社会人など17名、すでにフリースクール等の学校外の場で不登校の子どもと関わっている支援者8名の合計25名が参加。通常の（会場に実際に集まっていた）スタッフ養成講座よりも幅広い層から参加者が集まったため、前提となる知識の共有やWEB会議システムの使用方法説明にも時間がかかり「もっとたっぷり」と議論の時間をとりたい」という声も寄せられたが、意義のある学びの時間となった。</p> <p>なお、2019年7月からは自主事業として同様のオンライン養成講座を実施、web学習会での議論を少人数で行い参加者一人ひとりの発言時間を確保するために、前年度参加者の中から7名にボランティアファシリテーターとして活動に加わっていただいた。</p>		<p>○当初計画では10名程度の講座参加を見込んでいたが、定員を大きく超える33名が参加を申し込み、25名が実際にweb学習会まで参加した。</p> <p>これまでは、東京まで足を運ばなければ受講できなかった講座に全国どこからでも参加できるようになったことで満足度は高かったが、もう少し参加者同士の議論の時間を多くとりたいとの要望もあった。</p> <p>また、動画視聴の時間と議論の時間を完全に分けたため、議論の時間はかなり多くとれていたが、運営側もweb会議に不慣れであり、実際に集まるよりは議論の密度が薄くなってしまったと思われる。今後は、声だけのコミュニケーションではなく、ネットの特性を活かしたチャット（掲示板形式）を活用し、時間を問わない参加者同士の意見交流の仕組みづくり等にも取り組んでいきたい。</p> <p>○参加者の満足度は非常に高く、これは講演、シンポジウムを「動画教科書」としてそれぞれが好きな時間に視聴できるようにしたことにより、一つの講演、シンポジウムを複数回見る（聞く）事ができるようになったことも満足度の向上に寄与していると考えられる。</p>		<p>youtubeなどで、参加者は好きな時間に講座の動画を視聴できます。</p> <p>WEB学習会</p> <p>指定の時間にWEB会議を開催、動画教科書を視聴しての感想や疑問点、学んだことなどを共有し、学びを深めます。</p>		
<p><b>■ 1年間の活動のまとめ</b></p>		<p><b>■ 事業を通じて得られたノウハウ</b></p>		<p><b>■ 実施した人材育成策</b></p>		<p><b>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</b></p>
<p>○講座のオンライン化については以前より要望もあったため、参加者の満足度が高ただけでなく、今回参加できなかった人からも「今後も継続を」と期待する声が多く届いている。</p> <p>○自主事業として実施した2019年のオンライン講座には、2018年のオンライン講座参加者と同じ団体のスタッフや、過去東京で開催した養成講座に参加した団体からの申し込みもあった。</p> <p>また、2018年オンライン講座参加者にボランティアとして講座実施の補助をお願いしたところ7名が快く答えてくれるなど、事業への満足感と継続して学んでいく意思を示していただいた。</p>		<p>○はじめてオンライン講座を実施したため、WEB会議に不慣れな参加者が多く、はじめのうちは機器の取り扱いことまどう参加者も多くいたため、そのサポートに時間を要した。</p> <p>しかし、一度実施して起こったトラブルや解決策をまとめた簡易マニュアルを作成し、また講座本番が始まる前に任意参加のWEB会議練習（接続テスト）の時間を設けることによって効果的に解決していくことができた。</p> <p>○動画教科書の作成については、撮影・録音の音質（機材）の課題もあり今後も外部に依頼をする予定である。</p>		<p>○WEB学習会の実施に先駆け、団体理事、事務局向けのWEB会議システム利用方法の研修を実施した。</p> <p>○2019年オンライン研修（自主事業として実施）に向けては、ボランティアスタッフ向けのWEB会議システム利用方法の軒数を実施した。</p>		<p><b>この1年間の活動を通じて</b></p> <p><b>オンライン研修の実施ができる体制と、ボランティア参加で事業実施を支えてくださるネットワークの構築</b></p> <p><b>を達成しました。</b></p> <p><b>■ 受益者の変化（効果測定結果等）</b></p> <p>事業実施後のアンケートからは、動画教科書の視聴、WEB学習会への参加ともに非常に高い満足度が得られたほか、実際にフリースクールを立ち上げた人も2名いた。</p> <p>また、オンライン研修への参加をきっかけに2019年度の当団体主催の他の事業に参加をする人が3名、当団体の理事・事務局メンバーを団体内の研修講師としてお招きいただいた団体が2団体、継続して実施したオンライン講座をボランティアとして支えてくださる方が7名いた。</p>